

オプテス

会社紹介

【事業内容】

光学フィルムの製造

1991年設立。オプテスは、日本ゼオンの製造受託会社として、光学フィルムを製造しています。

【人員数】

2019年3月末人員数：327名（男性285名、女性42名）

2018年度採用実績：8名（男性7名、女性1名）



オプテス北陸工場（高岡製造所）



オプテス北陸工場（氷見製造所）



オプテス北陸工場（敦賀製造所）

製品イメージ



光学フィルムを使った大型テレビ

会社方針（トップメッセージ）

【方針】

根本を理解し、本質に着手する

【重点課題】

速力ある組織体制を目指す。

1. 必要などころに重点的に人を掛けて対応を進める。
2. 生産技術について、きちんと体系化した活動ができるよう体制を整える。
3. 将来のコア人材を積極的に登用・育成する。



赤谷 晋一 社長

安全への取り組み

【方針】

「安全を全ての中心」とし、生産は「安全・安定操業」に注力、管理は「見える化と業務改革」を進め、安全で快適な職場環境の維持・向上と、品質・コストに優れた工場を確立します。

【具体的な取り組み】

1. 全ての機械・設備の危険性、または有害性を特定し、本質安全化に向けた改善を図る。
2. 全員参加による、安全基本活動および職場自主活動の推進により、職場の活性化と、安全第一とする風土改革を実施し、継続的な安全衛生水準の向上を目指す。
3. 関係する全ての人に適正な教育を行い、安全衛生関係法令および工場規定等を遵守する。

環境負荷削減の取り組み

【方針】

環境事故・異常を撲滅し、安心して働ける職場、信頼される企業にしていくとともに、健全な環境と安心して生活できる生活環境の確保を目指し、次世代に継承することが責務であることを認識し、環境に調和する生産活動を通じて社会貢献し、環境負荷と環境リスクの低減に努めています。

【具体的な取り組み】

1. 環境事故、環境異常の発生「ゼロ」を追求していく。
2. 環境改善を継続的に進める。
3. 環境関連の法令、自ら定めた規定類を順守する。
4. 省エネを推進するとともに、汚染の防止に努める。
5. 資源のリサイクルを推進し、廃棄物発生量の削減に努める。
6. 環境に配慮した生産技術の推進と、成長戦略の継続的推進。

環境関連データ (「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す)

(株) オプテス		2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	1	1	1	1	1
	使用量 (トン)	1	1	1	2	1
	排出量 (トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量 (トン)	1,254	1,443	1,973	3,860	1,573
	埋立処分量 (トン)	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0
水資源 (工業用水+地下水+上水道) 使用量 (千 m ³)		52	66	64	90	97
CO ₂ 排出量 (トン)		34,196	38,498	36,279	39,252	36,465
エネルギー使用量 (原油換算、kL)		13,612	15,039	14,740	15,333	15,692
消費電力量 (千 kWh)		53,376	59,314	58,125	60,399	62,103

社員とともに

【方針】

皆で改革・改善をやり続ける風土を大切にし、対話を重視した「人材育成」と全社員が活躍できる「働きやすい職場環境づくり」を目指す。

【具体的な取り組み】

1. 入社 1～3 年目の社員を対象とした基本教育を実施する。
2. 製造課では力量評価を用いた職業レベルの向上を図る。
3. 全社改善活動事例発表会で意見交換し易い風土を作る。
4. 女性社員の意見を反映した働きやすい作業環境を作る。
5. 生産工程を改善し、障がい者雇用の創出につなげる。

地域との共生

市民社会との調和を図り、企業を創造的に発展させていきます。

【具体的な取り組み】

1. 地域美化活動

- ・氷見市上田子地区清掃活動（毎月 延べ参加者数 27 名）
- ・工場周辺地域の清掃活動（春、秋 57 名）
- ・氷見島尾海岸と伏木国分海岸の清掃（夏 70 名）



上田子地区でのゴミ拾い活動

2. 地域の高等学校との交流

工場見学やインターンシップなど、高校生の社会見学や就業体験に協力しています。

- ・工場見学者数 66 名
- ・インターンシップ受入数 3 名



高岡工芸高校インターンシップ
(フィルム検査、PCデータ入力)